



新型コロナウイルス感染症

感染拡大防止のための活動報告No.9

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対策は、地域の感染状況によってさまざまですが、婦人会では、COVID-19 と上手に付き合うためにさまざまな活動を続けています。

そこで、新しい生活様式のために取り組む婦人会活動を紹介いたします。

<熊本県健康を守る婦人の会（上天草市教良木河内婦人会）>

上天草市松島町にある教良木河内婦人会では、3月20日～23日にかけて、布でのマスク作りを行いました。

婦人会員10数名は、布の裁断のため公民館に集まり、また縫製については、地元の縫製工場にご協力いただき、完成させました。

婦人会員である奥様が、縫製会場として工場のスペースを提供していただき、またワイシャツ生地の手切れとゴムひももすべて無償提供していただいたものを活用しました。

出来上がったマスクは、和光園養護老人ホームに30枚、特別養護老人ホームひかりの園大石邸に20枚、教良木小学校生徒に28枚、先生に13枚、そして婦人会員全員に67枚の合計158枚を届けました。ワイシャツ生地で作成したマスクは皆さんに好評でした。



写真 地元縫製工場での作業の様子